

## 議長定例記者会見 会見録

日時：平成25年11月18日10時30分～

場所：全員協議会室

### 1 発表事項

- 「平成25年 三重県議会10大ニュース」にかかる投票の実施について
- 議員研修会の開催について

### 2 質疑項目

- 「平成25年 三重県議会10大ニュース」にかかる投票の実施について
- 議員研修会の開催について
- 食材の不適切表示について
- 県議会議員の選挙区における一票の格差について
- 代表質問の時期の変更について

### 1 発表事項

- 「平成25年 三重県議会10大ニュース」にかかる投票の実施について

(議長)おはようございます。ただ今から、11月の議長定例記者会見を開催いたします。

まず、平成25年三重県議会10大ニュースにかかる投票の実施について、発表をさせていただきます。

お手元の資料をご覧ください。

三重県議会では、毎年、10大ニュースを発表しているところでありますが、10大ニュースの選定にあたっては、県議会の取り組み状況を広く発信して県議会への関心を高めるとともに、県議会への参加意識の高揚を図ることをねらいとして、県民の方々に参加していただいで進めたいと考えています。

具体的には、明日、11月19日から12月4日までの16日間で、10大ニュース候補の24項目のうちから10項目を選択して投票していただきます。

投票の方法につきましては、4つの方法があります。

1つ目は県議会傍聴者の投票用紙による投票、2つ目は県議会ホームページ閲覧者の電子アンケートによる投票、3つ目はe-モニターの電子アンケートによる投票、4つ目は県議会議員自身による投票です。

報道機関の皆様におかれましては、たくさんの県民の方から投票していただけるよう、情報発信につきましてご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

## ○議員研修会の開催について

(議長) 次に、議員研修会の開催について発表させていただきます。

現在、議会改革推進会議では、代表者会議から依頼のあった「議会マネジメントシステム (案)」について、議会改革諮問会議の最終答申で提案された「議会基本計画」も含めて検討を進めています。

この議論を進めるにあたっては、全議員が共通認識を持つ必要があることから、議会改革推進会議の主催により、全議員を対象とする研修会を11月27日、水曜日の午後1時から、全員協議会室にて開催いたします。

講師として、法政大学法学部長で、三重県議会議会改革諮問会議の委員等も務められた廣瀬克哉氏をお招きし、「4年間を通しての議会活動のあり方について」をテーマに、お話しいただくこととしております。

研修会の開催後は、講演や意見交換の内容を踏まえ、議会改革推進会議の役員会において、さらに議論を深めていただけるものと考えています。

以上、2点、まず発表させていただきました。

## 2 質疑応答

### ○「平成25年 三重県議会10大ニュース」にかかる投票の実施について

(質問) 10大ニュースで、議長が個人的に1つ選ぶとしたら何かありますか。

(議長) まだ具体的に考えてはおりませんが、私といたしましては、通年議会を開始いたしましたから、これを何とか充実したいということでいきますと、①ぐらいかな。

### ○議員研修会の開催について

(質問) 議員研修会の講師の方なんですけども、「議会マネジメントシステム (案)」と関連のある方というか、そういうことを考えていらっしゃる方なんでしょうか。

(議長) 講師の廣瀬さんはですね、議会改革諮問会議の委員として、「議会基本計画」についての提案があった同会議の最終答申に関わっていただいた、平成23年でしたかな、ここに関わっていただいた先生でございまして、地方自治や地方議会を専門として全国の議会改革の取り組みにも精通しておりまして、議員任期の4年間の議会活動の在り方に関するご意見や全国の状況も十分把握してみえるということで、この方をお願いするというところでございます。

(質問) ということは、一部で提案のある「議会マネジメントシステム (案)」について意見を交換するというよりも、幅広く議会改革についてお話を伺った

り、意見交換するという認識でよろしいのでしょうか。

(議長) 廣瀬先生の方からも、議会改革の内容等の分析等も以前お話を伺きをしておりますので、今回私どもがお願いをいたしました「議会マネジメントシステム(案)」、十分ご意見をいただけるような、こういう方だと思っておりますので、その方にご意見をいただくと、こういうことでございます。

(質問) 議長任期と関わってくると思うんですけども、議長任期4年制についてどうしてお考えですか。

(議長) 私がご検討いただきたいということで議会改革推進会議にお話をさせていただきましたのは、「議会マネジメントシステム(案)」ということでは、4年間の議員任期の中で立ち上げでまず1年、それから熟成で2年、そして仕上げで1年ということで、議会改革のマネジメントシステムを提案させていただきましたので、こんなところをいろいろ検討していただくこともいいんじゃないかということで、私どもは提案をさせていただきました、それが議長の1年任期とか2年任期とか、そんなところにある面では焦点がつながっていくんじゃないかなと、このように思っております。

### ○食材の不適切表示について

(質問) 食材の不適切表示の問題についてなんですけども、鈴木知事が先月消費者庁に都道府県の権限を強化できないかということで陳情にも行かれましたが、この問題に対する議長のお考えと、再発防止というか、どういふことをすれば解決できるかとか、そういったお考えをお聞かせください。

(議長) 知事の方はですね、消費者庁にいろいろお話しされた中には知事の権限ですね、都道府県の知事の権限を強化をしてはどうかという、こんなお話をされたような記憶があるんですけども、当然、都道府県の知事として強化をすること、それは行政の指導にもつながっていくということでは僕はいんじゃないかなと思っております。それと、この食品表示の件につきましては、なかなか法の盲点でですね、抜け道も大変多いと、こういうことも新聞でも報道されておりますので、県議会の方としてはできれば、私どもが議員提出議案で作らせていただきました「三重県食の安全・安心の確保に関する条例」を少し、もっと見直していきながらでも、県の立場としてこの表示に関する問題等で指導をしていけたらなど、こんな思いを持たせていただいております。

## ○県議会議員の選挙区における一票の格差について

(質問) 県議会の一票の格差についてお伺いしたいんですが。今年3月末の数字で県議会で一票の格差が最大で2.62倍という数字があるんですが、これについての議長のとらえ方をお伺いできますか。

(議長) 1月17日に選挙区調査特別委員会が設置されまして、検討を進めていただいております。現行の法規による選挙区及び定数の考え方とか都道府県の定数等の状況とか、いろいろ訴訟ごとが今現在ございまして、私どもの県としてもこのような状況を少しでも、私どもの2.62倍の県議会の選挙の格差というんですか、これについてもやっぱり解消していくというのは、もう2期ですね、8年程やられておりませんから、これはやっぱり改正するべきだと思っています。特に、一票の格差の是正を基本に定数削減や選挙区の見直しの検討を行うというのは、1月17日の選挙区調査特別委員会を設置をした時に、ほぼ皆さん方が合意事項ということでされてますから、当然やっぱりこの一票の格差等の問題についてはやっていただくべきだと、このように思っています。

(質問) 選挙区調査特別委員会で、自民党からは格差が変わらない案が出されていますが、これについてはどうですか。

(議長) 私も中で聞かせていただきましたけども、自分たちの選挙区の問題を自分たちで論議をするというのは本当に難しいなと改めて思わせていただきました。やっぱりいろいろな考え方、過疎の問題も述べられる方もございますし、それから、選挙事情で、議員に有利なというようなこういうところも気持ちの中で持ってみえて発言をされてみえますから、大変難しいなというお話も聞きましたけども、基本的には先ほどお話をさせていただきましたように、ここまで論議をしていただいておりますから、選挙区調査特別委員会の中では、一票の格差の是正を基本に定数削減とか選挙区の見直しというのを検討された、その結果が出てくるんじゃないかなと期待をいたしております。

## ○代表質問の時期の変更について

(質問) 今回から代表質問をですね、例年の9月から10月にしたということなんですけども、実際に議長として今回の質疑をご覧になってですね、その成果なり改善された点、もしお感じになったっていうのがあればお願いしたいですけれども。

(議長) 前年の成果をですね、6月に知事の方から案が出てきて、それに対して、8月に県議会の方として、出てきた案に対して8月までにいろいろ委員会

で検討してきて、その検討結果を知事にご意見を申し上げて、それでもってまた今度は、それに基づいて次年度の予算の姿とか、次年度の予算の骨子、考え方というのが出てきて、それで代表質問が少し遅れて9月会議の後半にやっておるわけですけれども、年間のサイクルで、前年の成果、それから検証を、10月の代表質問の中で行えるというのは、いいスタイルになってきたんではないかなと思っております。

( 以 上 ) 10時46分 終了